

# 2013-13-1 イヌの皮膚、肝臓

提出機関: Atlantic Veterinary College (Canada)

症 例: イヌ(シェットランドシープドッグ) 10歳齢 去勢雄

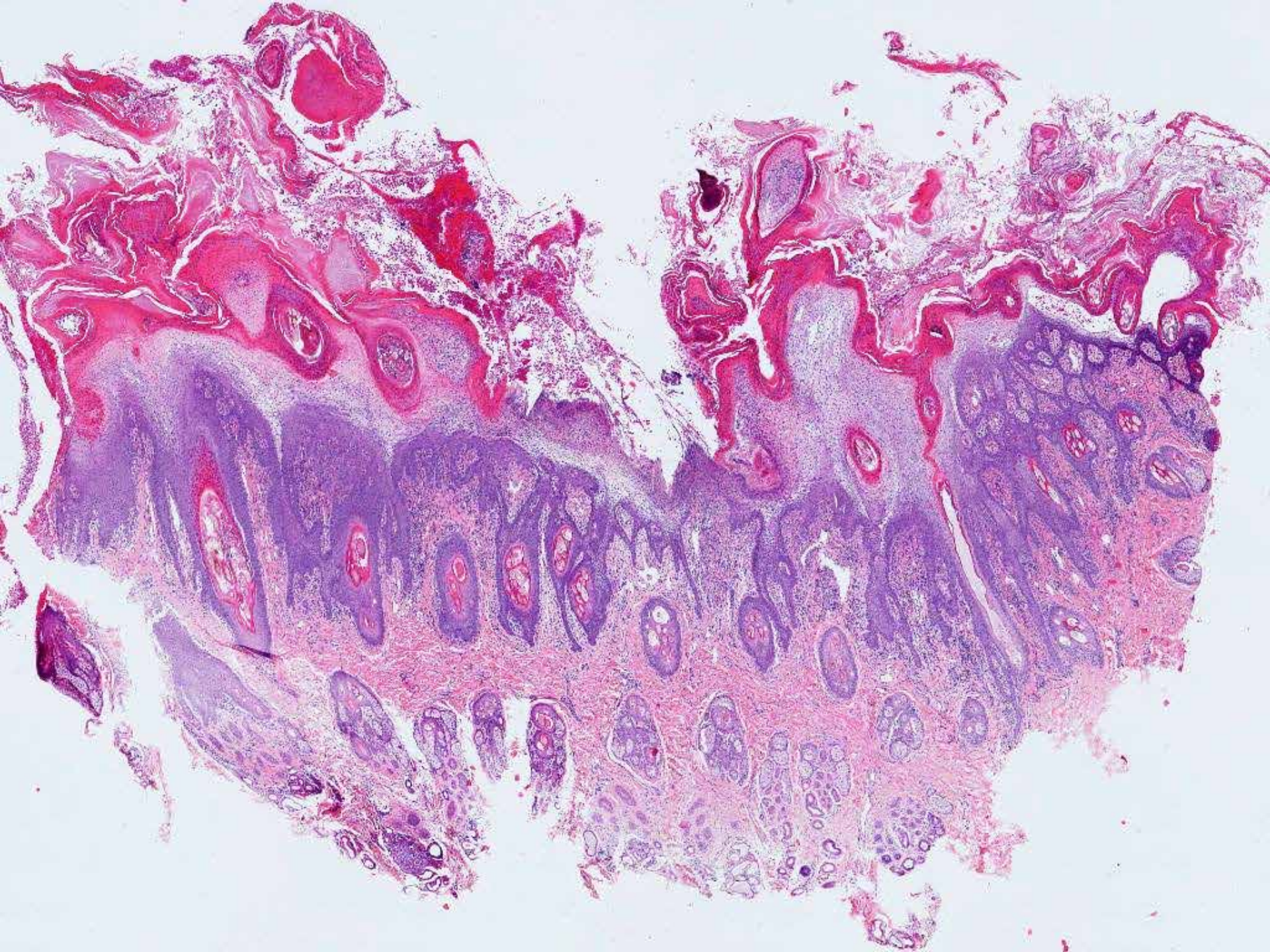
病 歴: 子犬時に皮膚筋炎(パットの過角化、紅斑、落屑、痂皮)との診断で抗菌剤、ステロイドで治療され一時好転するも再度悪化。直近では、下痢、非再生性貧血および糖尿と進行し安楽殺。

肉眼所見: 肝臓でびまん性に結節、その他の腹腔臓器には著変なし。

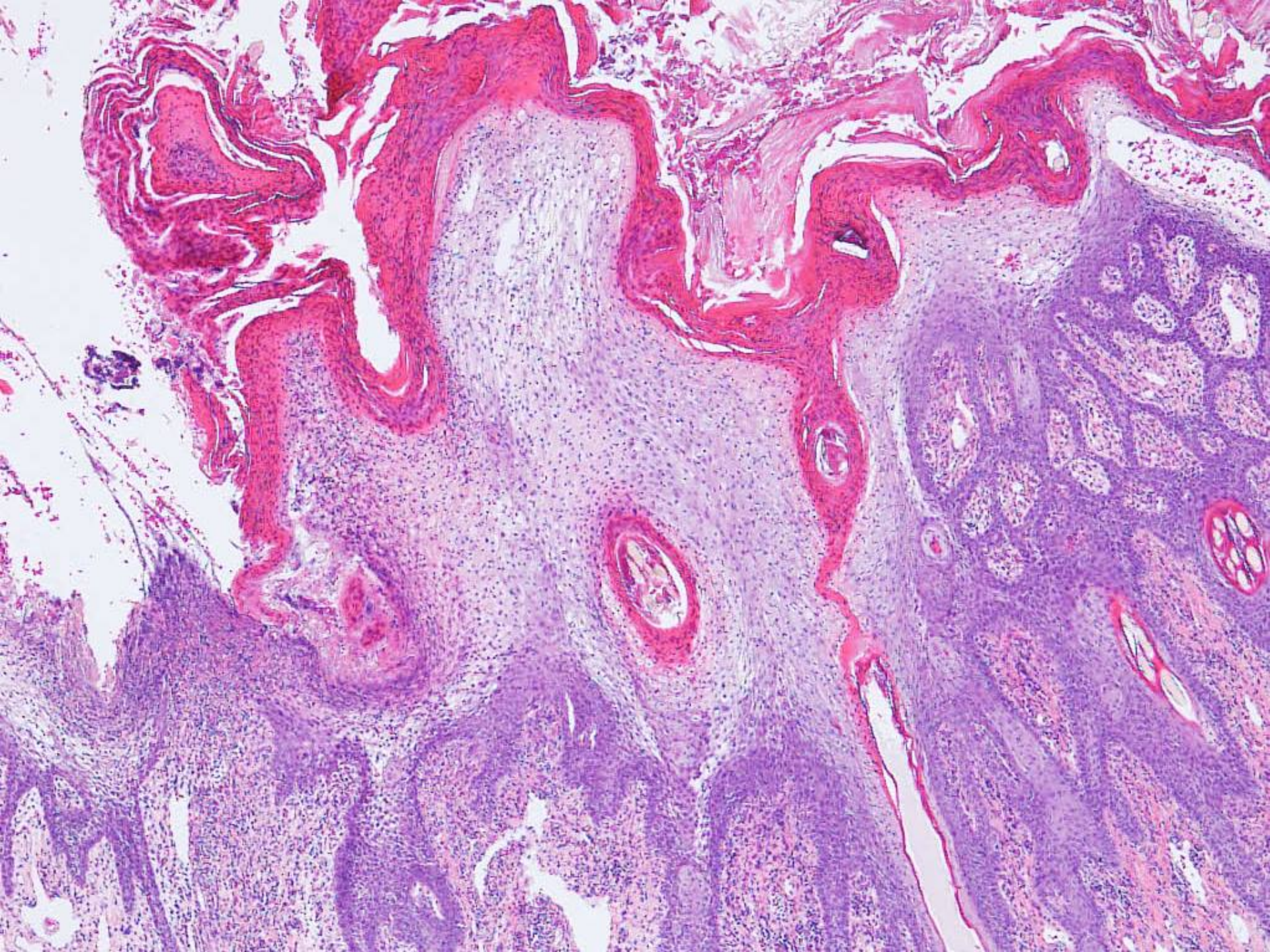
検査成績: Alb: 23 G/L ALP: 1632 U/L ↑↑ ALT: 442 U/L ↑↑ Glu: 9.2 mmol/L ↑  
WBC:  $19.1 \times 10^3 / \text{mm}^3$  ↑ (Segmented: 94% Lymphocytes: 3%  
Monocytes: 2% Bands: 1%)  
RBC:  $4.12 \times 10^6 / \text{mm}^3$  ↓ urine Glu: 3+

肝臓の細胞診(剖検の約1週間前に実施)で胆汁うっ滞、菲薄化した少数の肝細胞並びに好中球性炎症と思われる細胞。

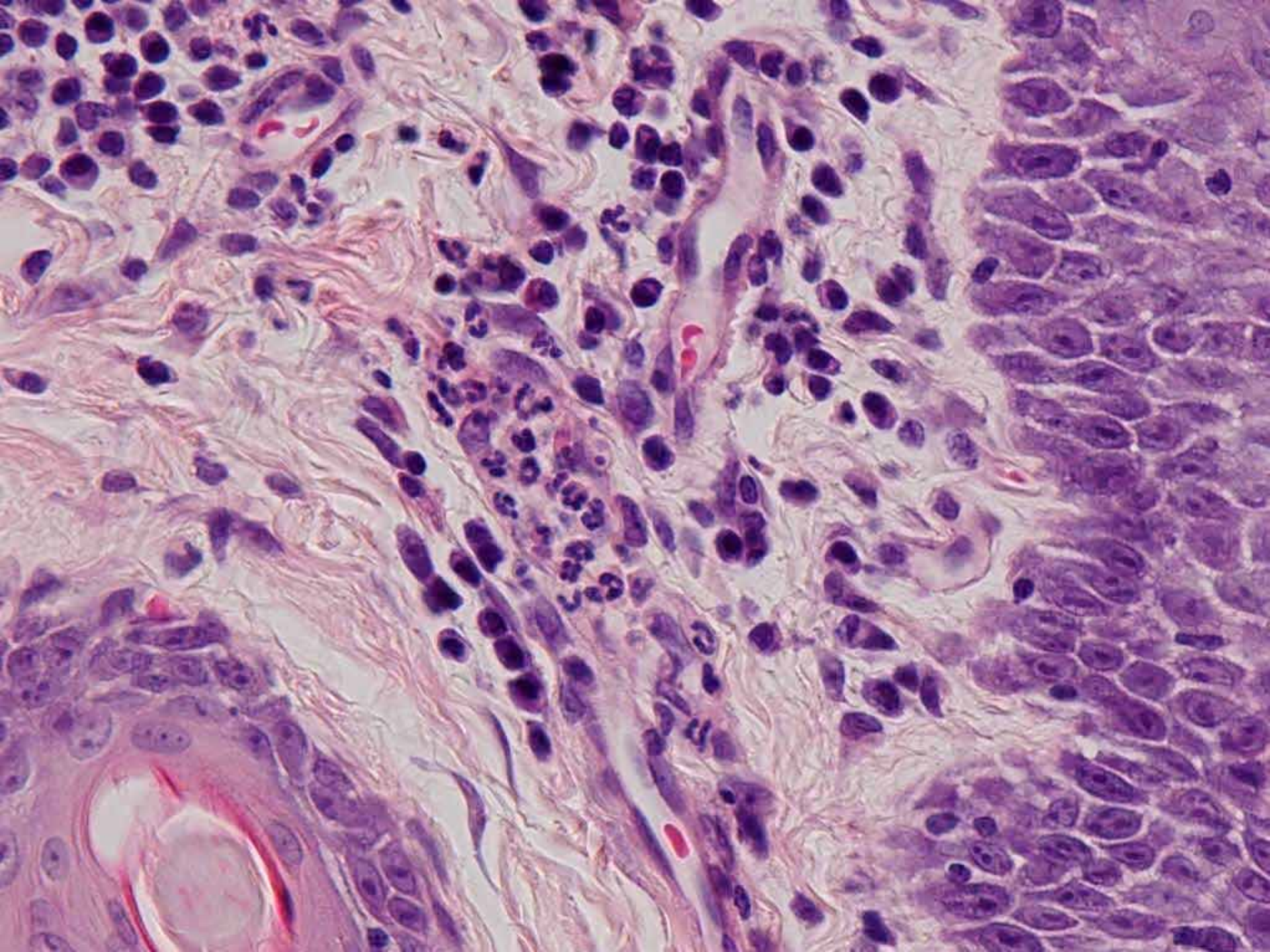




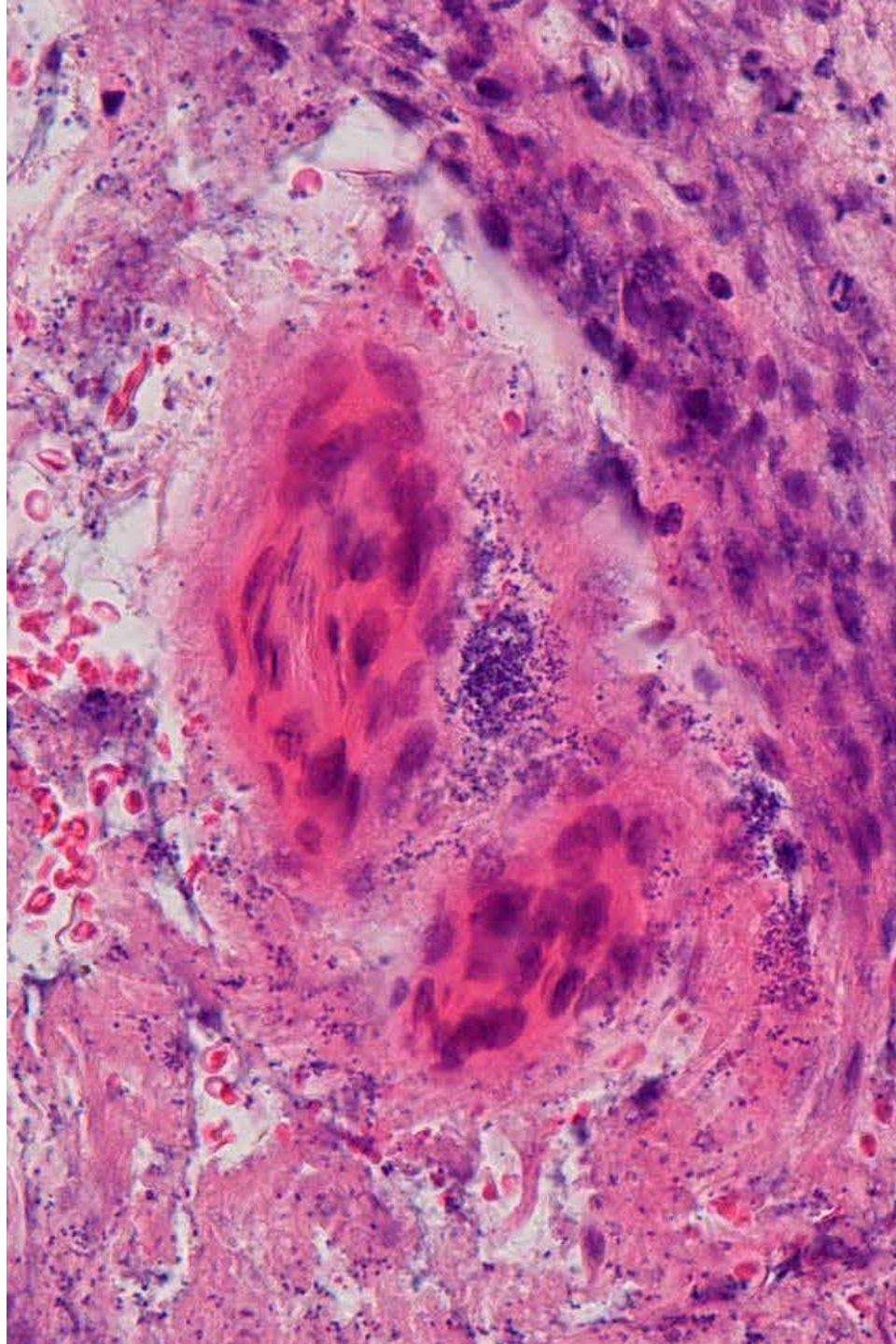
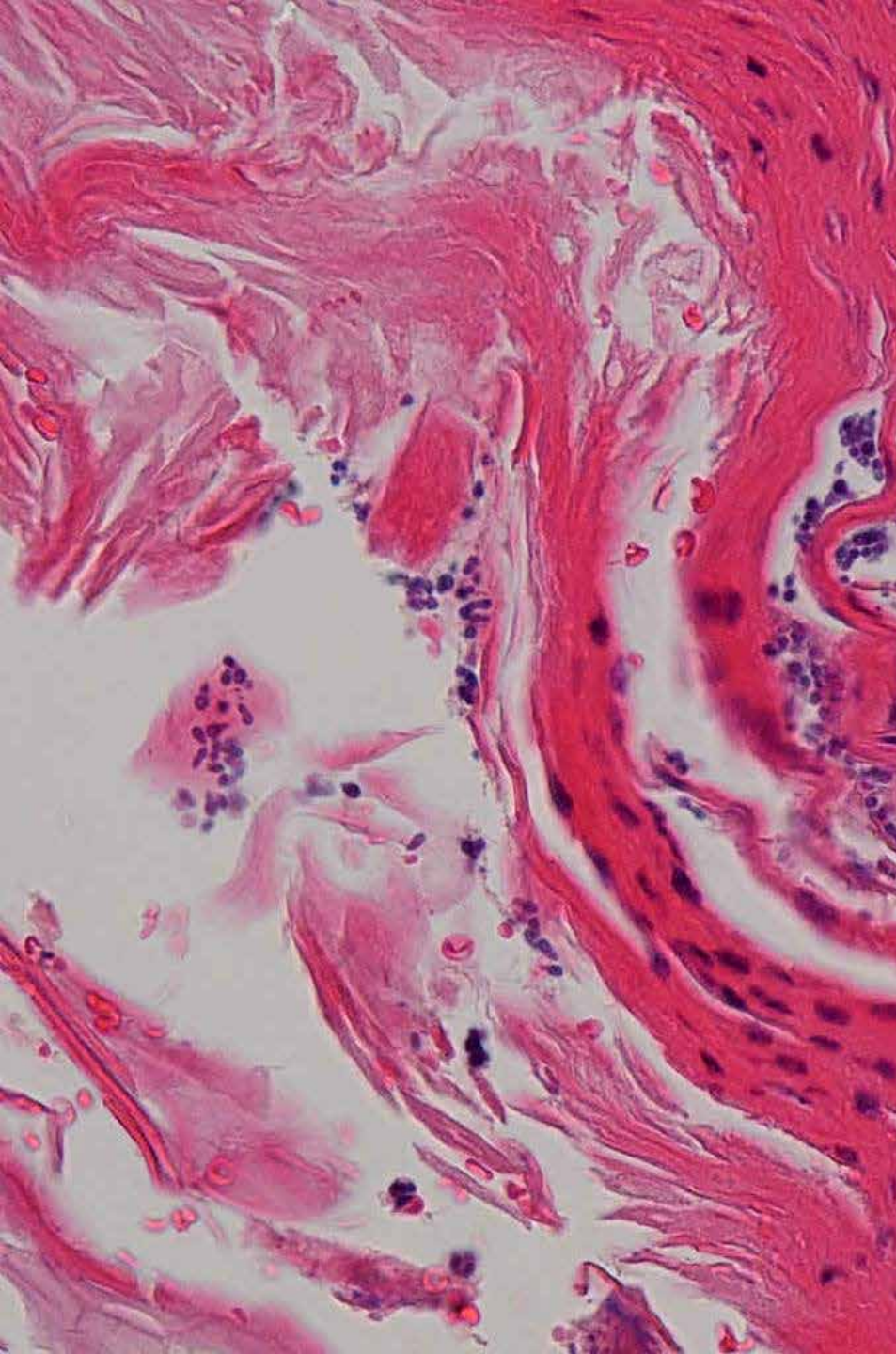




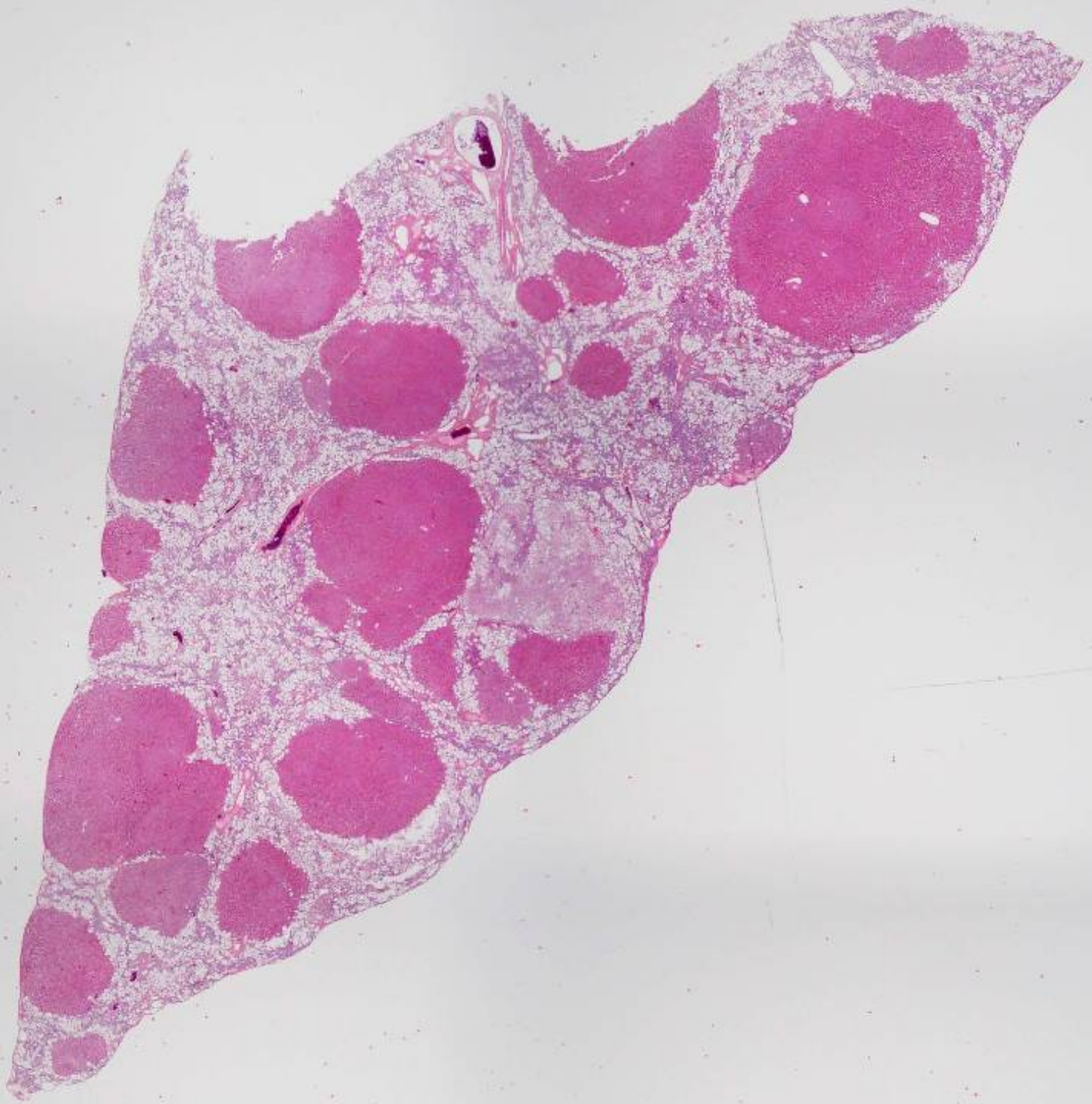




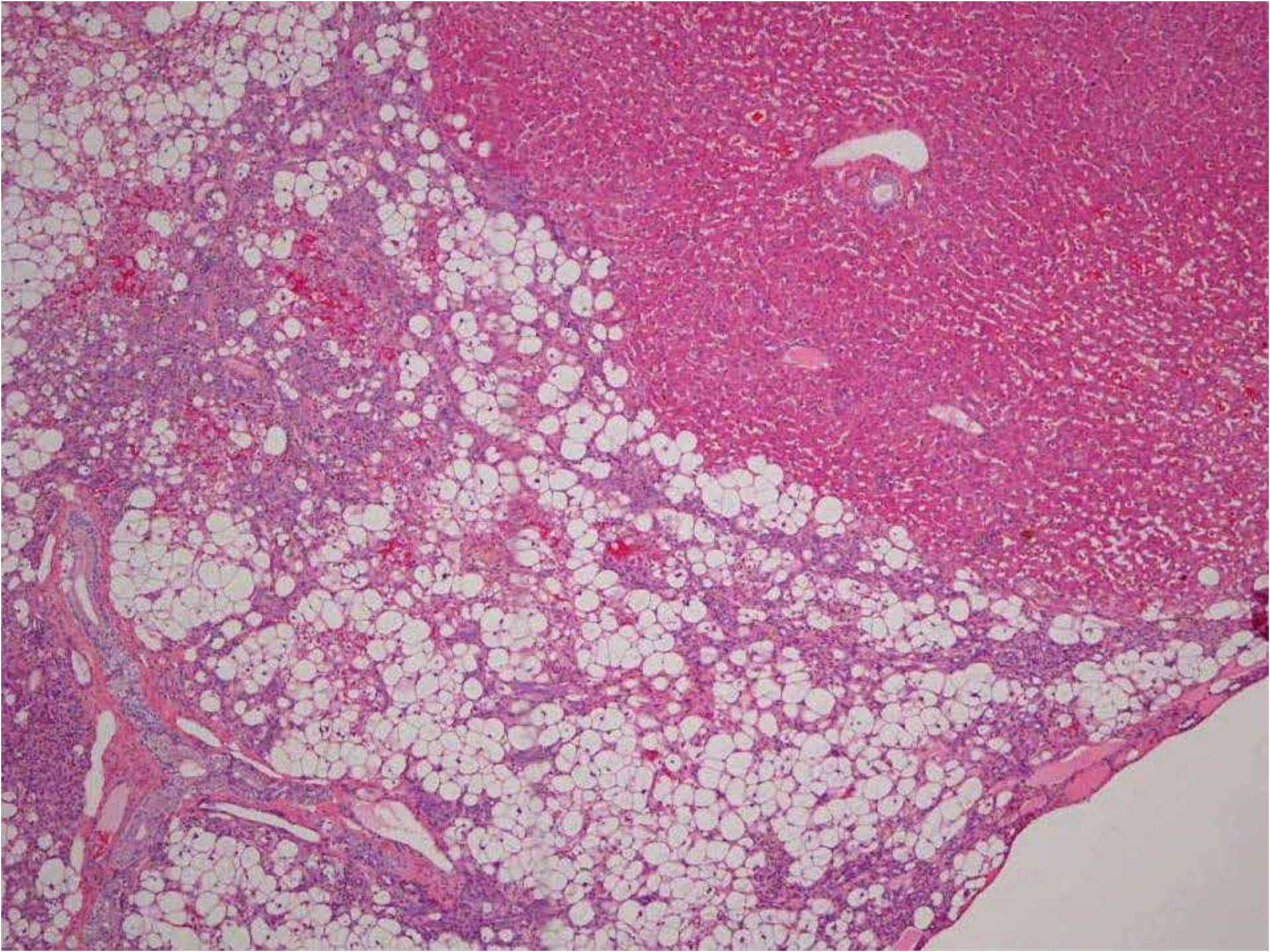




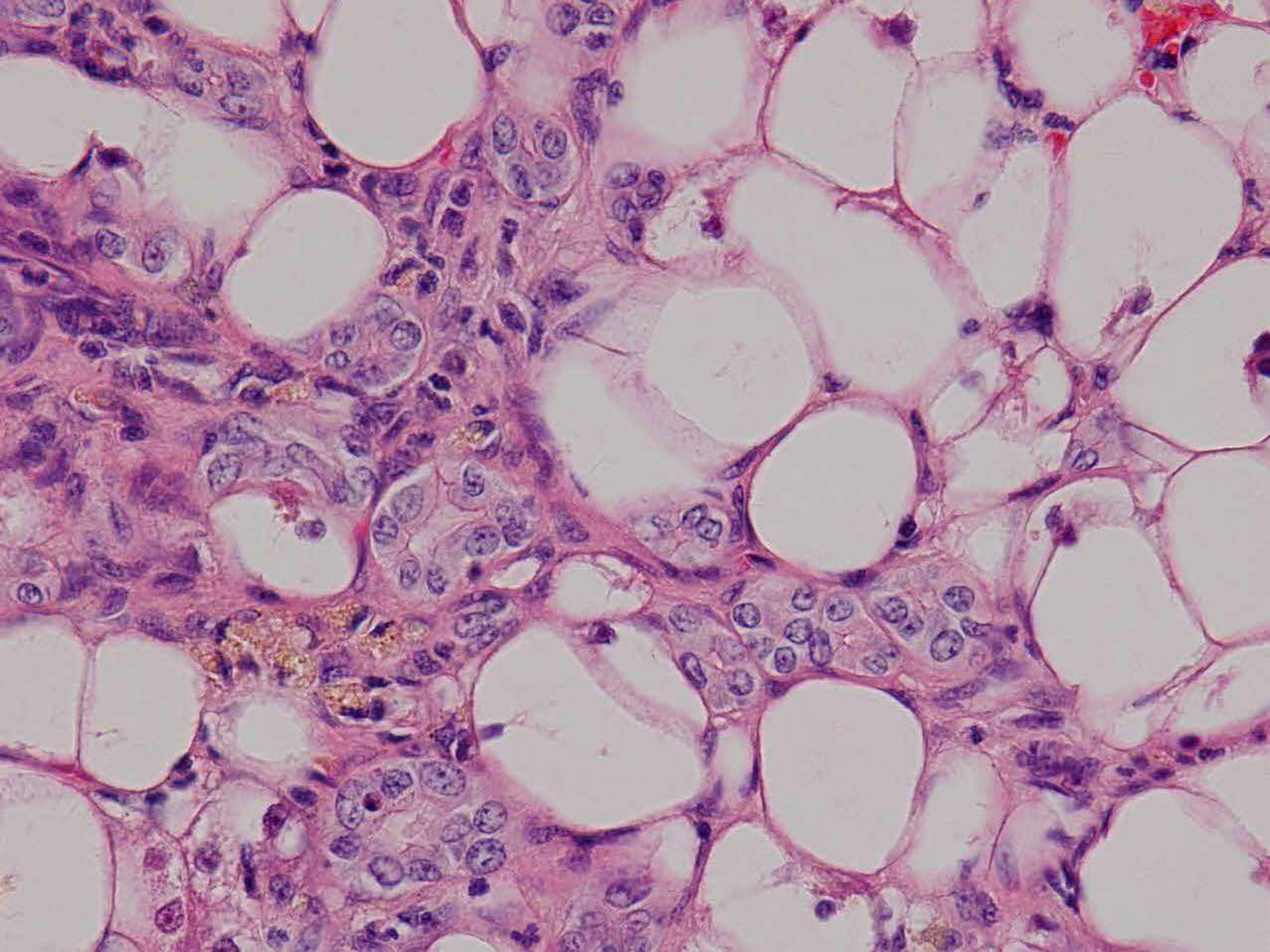




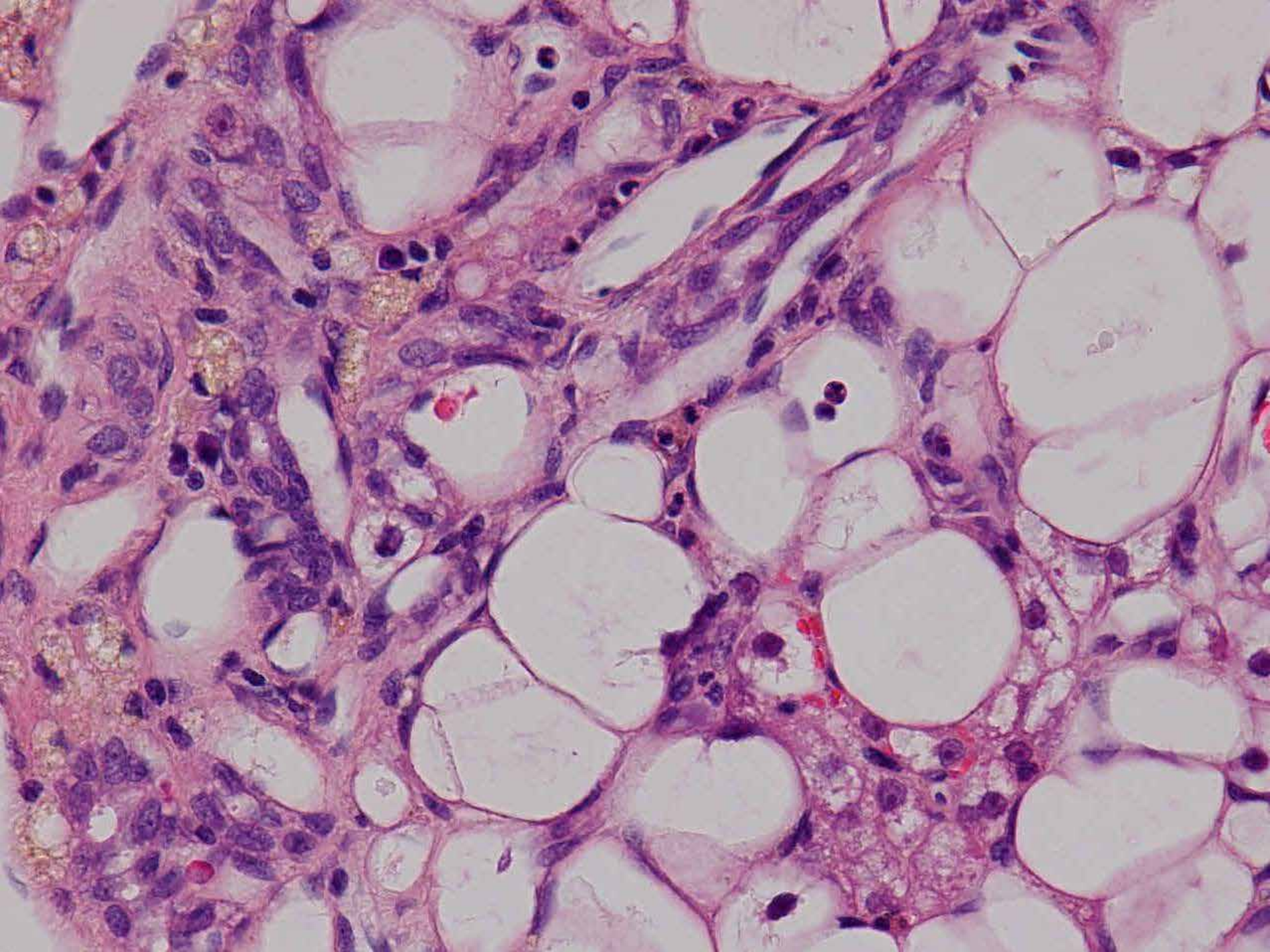














## 提出者の診断:

1. 有毛部皮膚、両側性、中足部: 層状の表皮浮腫、変性および壊死、重度。著明な基底細胞の増生、錯角化性過角化症(表在性壊死性皮膚炎)および菌体群と出芽酵母(マラセチア属)を含む膿疱/好中球性の痂皮を伴う。  
1. Haired skin, bilateral, metatarsal areas: Laminar epidermal edema, degeneration and necrosis, severe, with marked basal cell hyperplasia, parakeratotic hyperkeratosis (ie. superficial necrolytic dermatitis), and pustules/neutrophilic crusts containing bacterial colonies and budding yeast (*Malassezia* sp.).
2. 肝臓: 肝細胞の空胞性変化(空胞性肝障害)、重度、びまん性。実質の崩壊、中等度の胆管増殖および結節性再生を伴う。  
2. Liver: Hepatocellular vacuolar change (vacuolar hepatopathy), severe, diffuse, with parenchymal collapse, moderate bile duct proliferation and nodular regeneration.

## JPCの診断:

1. 肝臓: 肝細胞の空胞変性、びまん性。著しい肝細胞の消失、結節性再生および細胆管反応を伴う。  
1. Liver: Hepatocellular vacuolar degeneration, diffuse, marked with hepatocellular loss, nodular regeneration and ductular reaction.
2. 有毛部皮膚: 表皮の浮腫、変性および壊死、表在性、びまん性。顕著な基底細胞の増生、錯角化性過角化症および亜急性皮膚炎を伴う  
2. Haired skin: Epidermal edema, degeneration, and necrosis, superficial, diffuse, marked, with basal cell hyperplasia, parakeratotic hyperkeratosis, and subacute dermatitis.



# 提出者のコメント:

表在性壊死性皮膚炎 (Superficial Necrolytic Dermatitis: SND)

SNDとは

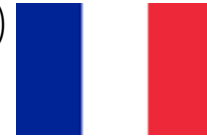
- ・イヌでは稀な肝機能障害による栄養欠乏性の壊死性皮膚疾患(肝皮症候群)。
- ・肝機能障害は多くは代謝性肝疾患、他に糖尿病、腫瘍、薬物等による。

症状

- ・腹部、皮膚粘膜接合部、耳、眼周囲および掌蹠の脱毛、紅斑、痂皮、滲出および潰瘍。
- ・一般的な皮膚病変は角化亢進、裂創、二次的な細菌感染。
- ・血中肝酵素は上昇し、血漿アミノ酸濃度は低下する。

病理組織所見

- ・不全角化、有棘層の水腫変性、基底層の増生による特徴的な「赤、白、青」模様。  
(フランス国旗)



- ・肝組織の結節性再生、肝細胞空胞化、実質の崩壊(しばしば肝硬変と混同される)。
- ・超音波画像で特徴的なスイスチーズ様(またはハニカム模様)。



予後/治療

- ・予後不良、多くは生存期間1年未満。
- ・治療にはアミノ酸、亜鉛、必須脂肪酸の経口投与。腫瘍の場合外科切除。

鑑別

- ・他の不全角化疾患、紅斑、薬疹、落葉状天疱瘡、全身性エリテマトーデス等。
- ・病歴、身体検査、臨床検査、病理組織学的検査。



# JPCのコメント:

肝組織の結節性再生像と既存の組織像の判別は困難であるが、再生領域内の肝細胞は周囲の実質の肝細胞よりも大きい傾向があり、結節は多くは様々な量の線維に囲まれていることから判別できる。さらに再生性結節の肝細胞索は無秩序である。

## 肝細胞の空胞変性について

### ・水腫変性

低酸素状態、中毒性/代謝性障害または胆汁うっ滞によって起こる。

### ・脂肪蓄積

生理学的または病的な脂肪の動員、脂質代謝の異常に対する反応。  
鑑別には脂肪染色 (Oil-Red O染色) が有効

### ・グリコーゲン蓄積

典型的には外因性または内因性ステロイドによって誘発される。  
鑑別にはPAS染色が有効